

# ご当地 自慢

岩村城跡と小里城跡

46

東濃森林管理署



岩村城の石垣

東濃管内の南東部に岩村城跡（恵那市岩村町）と小里城跡（瑞浪市）があります。二つの城跡は国有林内、または周囲を国有林に囲まれた場所にあり、今回はその二つの城跡についてご紹介します。

岩村城跡は、恵那市岩村町市街地から見て南西にある「城山」に今も石垣が残っています。創築は一一八五年と言われており、明治期の廃城までの約七百年間、城として使われてきました。

また、日本三大山城の一つに数えられ、標高七一七メートルに位置する城は江戸時代の日本で最も高いところにあることも知られており、現在も石垣が残っています。本丸の「高石垣」や、雛壇状に六段も積み重なった「六段壁」などの石積みを見ることが出来ます。

今年の大河ドラマでもおんな城主が描かれているところですが、岩村城にも「おつや」という女城主が善政を敷き、領民を守ったと伝えられていることから「女城主の里」とも言われており、地元清酒の銘柄にもなっています。

城下町へ足を運ぶと、旧家が建ち並び風情ある町並みを見ることが出来ます。

小里城跡は、瑞浪市小里の小里国有林内、標高四〇〇メートルに今もお石積みが残っており、室町時代の創築と言われています。一六三三年の廃城までの約九十年間、小里氏の居城として使用されていました。現在も山頂には「本丸曲輪」、山麓には「御殿場跡」などの石垣を見ることが出来ます。

本丸跡へのアクセスは県道から約五〇〇メートルの登り坂を約三十分の登山となります。

また、近くに国有林ではありません。



小里城の天守台跡

が、中津川市苗木に国指定の史跡「苗木城跡」があります。

苗木城の特徴としては、木曾川から約一七〇メートルの岩山に天守が築かれており、石垣に自然の巨石がそのまま活用された珍しい城跡となっています。

城跡登り口には「苗木遠山史料館」がありここには、苗木城の城主「遠山氏」に関する史料や模型などが展示されています。

いずれの城跡も散策可能となっていますので、いにしへのロマンを求めて足を

運ばれてみてはいかがでしょうか。

【アクセス】

◎岩村城

車 中央自動車道「恵那IC」より約二十分

鉄道 明知鉄道岩村駅下車 徒歩約一時間

◎小里城（登り口まで）

車 中央自動車道「瑞浪IC」より約十五分

鉄道 J R瑞浪駅下車タクシー十分

◎苗木城（苗木遠山資料館まで）

車 中央自動車道「中津川IC」より約十分

鉄道 J R中津川駅下車タクシー十分



苗木城跡